



現代芸術と哲学 読書案内 ①

現代芸術の流れを知るには、カラー図版の豊富な以下の本が手頃です。手許に一冊あると重宝します。

- | | |
|---|-----------------|
| 林洋子編『欧米のモダニズムとその後の運動』、藝術学舎、2013年 | 【西館4F 702/G】 |
| (2500円 + 税, ISBN: 978-4344951631) | |
| 末永照和監修『カラー版・20世紀の美術』(増補新装版)、美術出版社、2013年 | 【西館4F 702.07/N】 |
| (2500円 + 税, ISBN: 978-4568400854) | |

もっと詳しい内容と大判の図版がよければ、以下の大型本が岡山大学附属図書館に所蔵されています。

- | | |
|--|-----------------------|
| H. H. アーナスン『現代美術の歴史』ダニエル・ウィーラー改訂増補、美術出版社、1995年 | 【西館4F (芸術大型本) F702/A】 |
| エドワード・ルーシー = スミス、石崎浩一郎『現代の美術』、講談社、1984年 | 【西館4F (芸術大型本) F702/L】 |

講義で取りあげた芸術運動をそれぞれいっそう掘り下げるなら、以下を繙いてみてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 【印象主義】 | |
| ジェームズ・H・ルービン『印象派』、岩波書店、2002年 | 【西館4F 723.05/R】 |
| 【キュビズム】 | |
| ニール・コックス『キュビズム』、岩波書店、2003年 | 【西館4F 723.07/C】 |
| 【未来主義】 | |
| 井関正昭『未来派』、形文社、2003年 | 【西館4F 723.07/I】 |
| 【絶対主義／構成主義】 | |
| 水野忠夫『ロシア・アヴァンギャルド』、PARCO出版、1985年 | 【西館4F 702.3/M】 |
| 【表現主義】 | |
| 土肥美夫ほか編訳『表現主義の美術・音楽』、河出書房新社、1971年 | 【西館4F 702.3/D】 |
| 【ダダ】【シュルレアリスム】 | |
| マシュー・ゲール『ダダとシュルレアリスム』、岩波書店、2000年 | 【西館4F 702.07/G】 |
| 【抽象表現主義／アンフォルメル】 | |
| 尾崎信一郎『絵画論を超えて』、東信堂、1999年 | 【西館4F 723.07/O】 |
| 【ネオダダ／ポップ・アート】 | |
| ハル・フォスター『第一ポップ時代』、河出書房新社、2014年 | 【西館4F 702.07/F】 |
| 【ミニマル・アート】 | |
| ジェイムズ・マイヤー『ミニマリズム』、ファイドン、2005年 | |
| 【コンセプチュアル・アート】 | |
| トニー・ゴドフリー『コンセプチュアル・アート』、岩波書店、2001年 | |
| 【ランド・アート／環境芸術】 | |
| ジョン・バーズレイ『アースワークの地平』、鹿島出版会、1993年 | 【西館4F 629/B】 |



現代芸術と哲学 読書案内②

現代芸術の世界にもう一步踏み込むなら、たとえば以下の本が手引きになるでしょう。

塚原史『反逆する美学』、論創社、2008年	【西館4F 702.07/T】
多木浩二『進歩とカタストロフィー』、青土社、2005年	【西館4F 702.07/T】
宮下誠『逸脱する絵画』、法律文化社、2002年	【西館4F 723.07/M】
西村清和『現代アートの哲学』、産業図書、1995年	【西館4F 701.1/N】

現代芸術とともに展開した哲学や思想に興味が出たら、以下の本に挑戦してみてください。

塚原史『切断する美学』、論創社、2013年	【西館4F 702.07/T】
篠原資明『漂流思考』、弘文堂、1987年／講談社学術文庫、1998年	【西館4F 104/S 701.1/S】
——『トランスエステティーク』、岩波書店、1992年	【西館4F 701.1/S】
今村仁司編『トランスモダンの作法』、リプロポート、1992年	【西館4F 104/T】

ほかに、現代の写真・映画・演劇・舞踊・音楽・建築の展開を知りたいときは、以下の本などを。

伊藤俊治『20世紀写真史』、筑摩書房、1988年	【西館4F 740.2/I】
加藤幹郎『映画館と観客の文化史』、中公新書、2006年	【本館2F文庫・新書コーナー 081/C】
内野儀『メロドラマからパフォーマンスへ』、東京大学出版会、2001年	【西館4F 772.53/U】
尼ヶ崎彬『ダンス・クリティーク』、勁草書房、2004年	【西館4F 769.04/A】
松平頼暁『現代音楽のパサージュ』、青土社、1995年	【西館4F 762/M】
五十嵐太郎『現代建築に関する16章』、講談社現代新書、2006年	【本館2F文庫・新書コーナー 081/K】

日本における現代芸術の展開については、以下の本が簡にして要をえています。

林洋子編『アジア・アフリカと新しい潮流』、藝術学舎、2013年	【西館4F 702/G】
多木浩二、藤枝晃雄監修『日本近現代美術史事典』、東京書籍、2007年	

さらに現代芸術の世界がどのように広がっているのかを概観したいときは、以下の叢書が好適です。

『岩波講座 20世紀の芸術』全9巻、岩波書店、1988—1990年	【西館4F 702/K】
第1巻『芸術の近代』／第2巻『芸術と社会』／第3巻『芸術の革命』／第4巻『技術と芸術』 ／第5巻『言語の冒険』／第6巻『政治と芸術』／第7巻『現代芸術の状況』／第8巻『現代 芸術の焦点』／第9巻『芸術の理論』	
『モダニズムの越境』全3巻、人文書院、2002年	【西館4F 702.07/M】
第1巻『越境する想像力』／第2巻『権力／記憶』／第3巻『表象からの越境』	